

⑥介護職の処遇改善では、

「介護職の処遇が低すぎ、なり手がいなくなっている。介護保険が始まって20年も経たないうちに制度が持たなくなっており、当初の費用^分担ルール^ににとらわれず必要な財政投入を検討せよ」と訴えました。

⑦事務職の課題では、参加者から「報酬改定時には深夜に及ぶ残業が続く。不明点を厚生局へ質問するが、回答が遅く数ヶ月かかることもある。一年経っても何の返事も

ないことがある。疑義解釈も出るのが遅い。県や保険団体によってもルールが違って困っている。実態をどう捉えているか」と問い質し、改善を求めました。

全体として継続して訴える中で変わっていくものもあれば、担当者が縦割り、数年では入れ替わり過去の経緯を踏まえていない状況も見受けられて、ますます政府の大元の姿勢を変える運動も必要だと感じました。

住民と共に地域医療を考える

第36回医療研究集会在潮来

11月15、17日、茨城県潮来市にて、第36回医療研究集会を開催。13県と地域住民の方を含め、116名が参加しました。集会のサブテーマ「地域を守り、未来へ繋がる働き方を探そう」に合わせ、全体会や4つの分科会で医療情勢や働き方、病院と地域とのつながりについて交流し考え合いました。



安本運営委員長(左)・高木運営委員

歩んできた歴史を すぐろくで

集会ではプロローグに、安本運営委員長と高木運営委員から、全厚労や医療を取り巻くこれまでの歴史を「すぐろく」形式で振り返りました(図①)。1954年に北海道の呼びかけで「全日本厚生連従組結成大会」を6県で結成しスター

地域医療守る運動を

「厚生連医療をとりまく状況と厚生連医療運動の役割」として茂原事務局長が基調報告。はじめに台風19号の長野・千曲川周辺の労働・介護医療院での被害状況を紹介。2階付近まで浸水し、夜間の少ない人員で利用者さんを階段を使って3階へ移したことや、その後も職員で片付け、他施設に移した利用者さんへのケア、また地域のボランティアに出ている状況が話されました。

分析を味方に

他産別の労働組合で毎年労働学校を通して、経営者が本場に儲かっているのか本場に赤字なのか、見極める力を磨く講演をしています。

記念講演

経営者は地域医療を守るために何をすべきか

——— 山口不二夫先生(明治大学大学院教授)

を生かす機会と捉えて、同じ公的医療機関である日赤や済生会との違い、住民が農村地帯への医療機関が必要と出資して作られてきた

歴史があることなどを強調。「地域医療を守る」という一点で視野を広げ共同する運動を進めようと呼びかけました。

「すること。そして経営者の礼儀を正させ、「本気にならなくてはだめだ」という風にさせることが重要だと思っています。

良心的で専門的な 経営者を

医療の業界を分析すると、世界的にみても医療費が増加している、医師不足、医師数に比べ病床数が多い、医師の偏在など：ここまでは一般的なことだと思いますが、私はここに「専門的かつ良心的な病院経営者が少ない」が入ると思っています。個人病院では儲かる診療科だけを残して、労働条件がどんどん厳しくなっています。良心的な経営者を育てていかないといけません。また日本の医療は厚生労働省の力が強いです。これほど「官」の強い業界も珍しく、優秀な経営者の素質として厚生労働省の先を読めることが重要になっていきます。なので自ら病院縮小することは大失敗な行為です。424公的病院の再編統合リストが発表されましたが、戦略的に見ても、病院を維持し、統合の対象になったら交渉をする。厚生労働省を相手取ってやる時には、統合するからには恩典を与える、補助金

をつけるなど何かステータスをもたらすこと。自分から縮小することはありません。銚子市立病院が赤字で縮小し、いま再建しているところですが、どこで赤字を出したかというところ、小を決定してからの赤字の方がはるかに大きかった。縮小するといっても患者は来るので、高いアルバイトの医者をつたりと、医療は他の業界と違って閉鎖コストに非常にお金が掛かります。また医局との関係で、公務員並みに医師の給料を下げようなどと考えると、そんな労働条件の悪いところに送れないということになり院長が引き上げて、病院が閉鎖となってしまう。なめがたに関しても縮小の情報を経局に相談するのは、戦略的、経営的な思考でない。つまり専門的な経営者でなかったのです。

償却前補助金込みの 利益で考える

経営指標として何が重要かというと、通常は利益でいいのは色々な利益があること。現代でいう利益というのは業績の指標、パフォーマンスの指標となります。事業利益は本業のパフォーマンスを示します。経常利益は、本業と財務、お金がある場合には金利の収益があるし、借金をしている場合は金利負担があります。当期純利益には、臨時異常なもの、そのなかに補助金が入っています。事業利益は赤字だけど、補助金があるから収支がトントンになるというのが、多くの地方病院や交通公社にありま

地域社会・住民 への貢献を評価

線を考えますが、収支計算書には臨時異常の項目に入る。なので、経常利益だけを見たときに「赤字だ」と、「赤字でこの路線の働きが悪いから給料下げたほうがいいんじゃないか」と言ってくるのです。また利益の中には減価償却費が含まれていて、普段のお金の動きと違います。私たちは、病院の人气がない、客足が遠退いているといった業績を気にしなくてはいいけません。そういった普段の業績として、償却前で補助金込みの利益が一番指標として重要なのではないのでしょうか。

デタラメに だまされないように

経営の分析をしていると医療と、新聞社や放送局の経営が意外と似ているという事に気づきました。何が似ているかというと、重要な固定資産：医療なら病院、新聞社なら回転機、放送局なら放送機材を、20年〜30年に一度更新をする必要がある。しかし、それ以外の時には維持するだけでほとんど更新する必要がない。なので20年に一度大きい支出が出るという所が似ています。非常に大きい設



山口不二夫氏

厚生労働省が、公的医療機関424病院を名指しで再編統合の検討資料として発表したことについて、厚生連の役割や学んできたこと

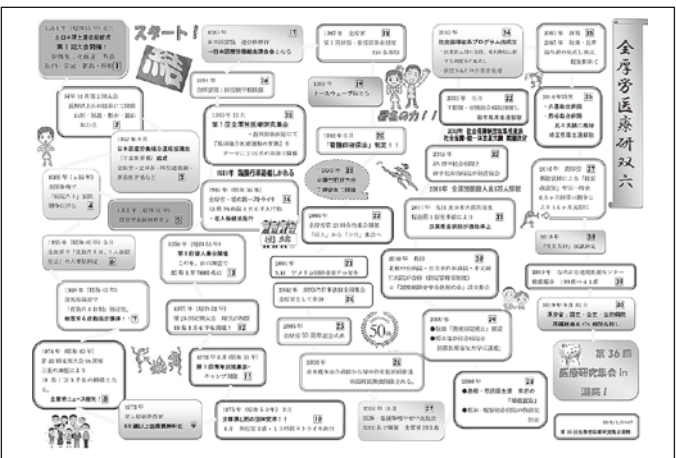
守る住民の会」が結成され、存続運動で県や厚生連を動かす、ついに病院存続へと繋がった事例などが紹介されました。

最後に安本運営委員長より、茨城県・潮来市での開催に、「ここ鹿行地域は、なめがた地域医療センター機能縮小問題のまっただなか。地域住民や自治体とともに私たち医療従事者が、地域医療を守るために何をしたらいいのか一緒に学んでいけたらと思います」と話されました。

集会ではプロローグに、安本運営委員長と高木運営委員から、全厚労や医療を取り巻くこれまでの歴史を「すぐろく」形式で振り返りました(図①)。1954年に北海道の呼びかけで「全日本厚生連従組結成大会」を6県で結成しスター

口で出た目の数で、歴史を進めて行きました。すぐろくの中で、1983年に『協同組合医療運動の復興』をテーマに「第1回全厚労医療研究集会」が静岡にて開催されたことや、2010年に秋田の地元紙に病院廃止検討の記事が取り上げられたことをきっかけに「湖東病院を

図① 歴史がたつぷり詰まった医療研すぐろく



第36回医療研究集会in潮来

分科会インタビュー

第1分科会 医療労働者と地域とのかかわり

地域を知って医療と住民をつなげることが大切

茨城・佐藤友香さん



知らなきゃいけないなと感じました。

第1分科会ではステージ1に、なめがた地域医療センターの縮小問題について、少しでも病院の縮小を抑えたいと同じ組合の仲間たちが精神的にも体力的にも大変な中で、地域の人達と一緒に、なって署名活動を行い、職員を守る活動も苦労しながら進めたという報告がありました。同じ県にいながら活動に参加したり、住民活動を大事にできていなかったと反省しました。また、住民の声を聞いてもつと地域を

第2分科会 私たちの「休み方改革」

働き続けるためにも休みを取る事が大事

三重・西村千尋さん



全厚労の集会には初めての参加です。三重の大会厚生病院で看護師をしています。

分科会では、休み方の話を中心でしたが、自分がこれまで当たり前だと思っていたことが違っていたことにびっくりしました。三重ではリフレッシュ休暇が年休に組み込まれたことで、「働き方改革」で

ソン大会のボランティアを行なっていると紹介があり、自分達も地域で出来ることから始めないと、感じました。医療労働者と地域との関わりを私たちがつなげていかないといけないんだなと感じた分科会でした。

損になった気がしましたが、まず有休をしつかりと取得することが大事だと感じました。

これまでは、有休は研修や大会などに充てるもので、長期休暇はリフレッシュ休暇を残しておいて取るものと思込んでいたが、そうじゃないと。やはり休みやプライベートが充実して、ワークライフバランスが取れていることが大事。「お金があれば、仕事をしないか」という質問がありました。仕事はお金のためだけに、患者さん相手にして、やりがいもあるし、ポスターにもあったように、「働き続けるために休みます」ということも大事だと思いましたが、みんなに迷惑がかかるから取らないとかではなく、誰かが取らないことで逆にみんなが取りにくくなると思いました。

第3分科会 病院を地域に開く

地域に知ってもらえる活動を

秋田・小西正規さん



秋田の由利組合病院で検査技師をしています。集会への参加は土浦の時以来で、2回目です。ご

多分にもれず、秋田でも退職者が多く、人員不足が大きな問題になっていきます。県内に県立病院がなく、厚生連がその役割を担っていますが、この間の新築移転で郊外に出ている病院では、不便になって患者が減ったところや逆に交通の便を充実させるなどして、成功している例もあります。

秋田は医師不足と同時に偏在もあり、秋田市内には集まっているもの、他地域ではお産も出来ない状況で住民が立ち上が

ているし、若い人たちもいます。三厚労中執として知ったこと学んだことを支部に伝えていくことの役割もあつて、充実しています。集会に参加して、全国にも仲間もたくさん出来ましたし、三重でのK's集会にも参加できたと思っています。

り始めています。病院の縮小・再編問題は、5年前に住民運動で跳ね返した湖東厚生病院でも経験しているので、他人事でもなく、全国的な問題だと思っています。地域住民に病院のことを知ってもらう活動が必要だと痛感しているところです。

第3分科会には、前回参加しただけでしたが、その時の劇がとても印象に残っていて今回もここに参加しました。声だけでは出るので、マイクなしでも大丈夫だし、悪役は初めてでしたが、とても楽しい思いをしました。

労組活動では、若い人の組合離れや脱退などが大きな問題で、地域医療を守る上でも、次世代のリーダーづくりが急務だと感じています。これからは全国の経験に学ぶ機会があればと思っています。

第4分科会

厚生連病院の果たすべき役割

医療のあり方として「食」を捉え安心・安全な給食を届けたい

静岡・長田齊之(写真左さん) 長野・池田博(写真右さん)

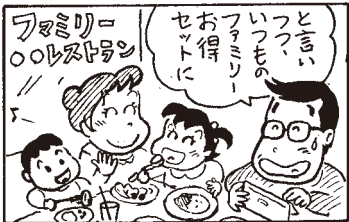


ステムはとても魅力的でした。地産地消の話では、JA利用は平均20%と思いのほか低く、その中でどうしたら地産地消をまわしていけるかという話で、生産者と消費者の顔を見えるようにし、病院では地元から仕入れた野菜がどのような料理になって提供されて、患者さんがどのように思ったか生産者に伝えることができれば、もう少し地産地消が進むのではないかと話しました。

厚生連らしい医療のあり方として、「食」を医療と結びつけてやっていくためにはいいなということを確認しました。(長田) 初めて参加して、非常に勉強になりました。長田さんの「祝い善」のレポートを聞いて、産婦人科に男性が食事を届けるというのは、私の病院では難しいですが、患者さんに喜んでいただけ、なおかつ安心・安全な給食を提供するという点に関しても、これからも努力していこうと思いました。全国の同じ厚生連の皆様と交流できてとても有意義な3日間になりました。(池田)

「言いたい劇場」

小菅りや子



頑張る仲間 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。
第147回は新潟と三重をお願いします。



新潟 水落佳広さん

新潟からは診療放射線技師で組合では副執行委員長の水落佳広さんを紹介します。

水落さんは副執行委員長として「正しいと思うことをやる」をモットーに、知識と経験を活かし様々な角度から物事を考え組合員のための組合運営・組合活動を支えており、組合にとってなくてはならない存在です。

組合活動に熱心な水落さんも家では、息子さんから三線をプレゼントされたことをきっかけにお酒を飲んで三線を弾くのが趣味となっているようです。また最近お子さんが結婚

されたり、お孫さんが増えたりと幸せたっぶりの一面もあります。

これからも、離職防止と人材確保のための賃金・労働条件改善に向けて仕事に組合活動に活躍を期待しています。

三重県厚生連の中で唯一の精神科病院で作業療法士として働いています。地域密着型を掲げる病院として、地域の皆さんに支えていただきながら日々過ごさせていただいています。その中で、私自身は療養型の病棟で入院患者様と関わらせていただいています。知識の無さや先輩方の医療に対しての姿勢など日々刺激を貰い、至らない部分を補っていただきながら充実した毎日を過ごしています。今後も日々精進しながら、よりよい医療を提供できる様にしていきたいと考えています。



三重 小口仁志さん

読者の声

今年度は、様々な場面でハラスメントという言葉を目にすることが多かったです。地域での活動がこの紙面を通して知ることができると、必ず毎号読ませて頂いています。

(静岡)

毎号読んで頂きありがとうございます。ハラスメント問題は繊細で複雑なので対応にも苦労します。お互いに思いやりを持って接することが大切ですね。

(KU)

なめがた地域医療センターの縮小問題にハッしました。当地域でも「病床過剰地域」と言われており、病

床の再編計画が動いているからです。他の地域の情報も把握しながら、地域住民のための医療を実践していきたいと思いました。

(長野)

(OK)

なめがた地域医療センターの縮小は他人事ではないと思いました。職員一人ひとりが地域のために継続を目指し、組合員の権利を守るための行動を起こさなければならぬと思います。

(富山)

1人でできることは限られていますが、各々が同じ方向を向けば大きな力となり、組織を動か

すこともできるはずです。

(HR)

厚生省の病院名指しについては地域の事情を全く考慮していない暴挙としか言いようがありません。元来、厚生連病院はへき地医療に特化した地域密着型の地域発生型の医療であるのに、収益性は低くいなりにも皆んな頑張っていると思います。

上から目線で再編を促すのではなく、どちらかというと、補助金出すからこれやって…位の姿勢でも良いのでは？

(岐阜)

ほんとにその通りだと思います。あまりにもひどい。現場の声、地域のみなさんの声をちゃんと聞いてほしい。

(SN)

医労連共済の

火災共済

建物だけで 最高 4,000万円保障
家財だけで 最高 2,000万円保障

●再取得価額保証だから安心です。●火災以外の風水害なども保障。●地震特約もつけられます。
●退職後も継続加入できます。

★契約内容の詳細は、リーフレットをご覧ください。

ご加入のご相談 お問い合わせは 労働組合の共済担当者まで

右のQRコードから全厚労ホームページを開き、「資料・データ」のページから過去の全厚労ニュースを見る事が出来ます。



クロスワードの投稿もQRコードからできます。
氏名・住所・希望景品(図書カード又はクオカード)は必須事項です。投稿数に応じてポイントが貯まります。
今年度からハガキでもポイントが貯まります☆

スマホからすべて投稿できます★

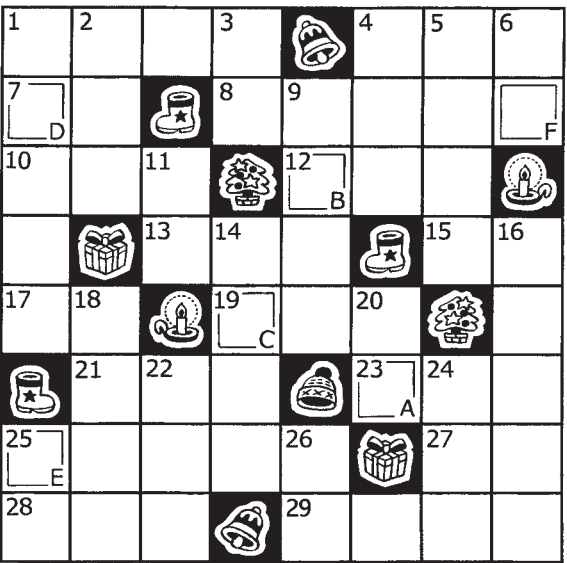
教宣部の つぶやき

昨年よりチワワを飼っていますが、食い意地が凄くて困っています。犬ってみんなそうなのでしょうか？人間の食べ物を見るや否や、颯爽と駆け込んでくるマイドッグ。当たり前のように、自分も食べれると思っている憎たらしさってない(笑)かし、そんな姿も愛しいです。

(KS)

ザ☆クロスワード

出題▶モロズミ勝



答 A B C D E F

■ヨコのカギ

- 1 首都はアムステルダム
- 4 旅行記。……文
- 7 自分の兄弟や姉妹が産んだ男の子
- 8 高い山の登り口、中ほどは五合目です
- 10 頭の尖った……鯨
- 12 邦画に対し西洋の映画
- 13 人のあとをこっそりつけて行きます
- 15 じゃんけんの「ぐう」
- 17 火のけ。……厳禁
- 19 長良川で有名な行事
- 21 魚肉の団子状の食品
- 23 仏の体から放射する光
- 25 かんしょ。からいも
- 27 とびが産むこともある？
- 28 川砂に交じって出る金
- 29 月の兎もしています

- 26 25 24 22 20 18 16 14 11 9 6
- 5 4 3 2 1
- タテのカギ
- 12月31日のことです
- ローレライは……川の
- 右岸にそびえる巨岩
- 灯……。天文……
- 筆で書画をかくこと
- 大気や水の汚染・騒音
- などで害されること
- ……にウグイス
- 時間延長の……勤務
- ネックレスは……飾り
- 日本は少子……化社会
- 火災の初期消火に使用
- 啄木鳥の読み方は？
- 白と黒の石を並べます
- 二十歳……は未成年者
- 猫はここで丸くなる？
- パンダの好物
- ……栗三年柿八年

締め切り:2019年12月末日 消印有効

あて先:〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5-6F 全厚労 ニュース係